

令和7年度 さいたま市立大宮国際中等教育学校 入学式式辞

桜の花も、春風にゆられ、咲きそろっています。

本日、この佳き日にさいたま市教育長 竹居 秀子 様の御臨席を賜り、第七回入学式を挙行できますことは、大きな喜びでございます。学校を代表いたしまして、深く感謝申し上げます。

ただいま、入学を許可しました160名の皆さん、ご入学おめでとうでございます。皆さんの入学を、在校生、教職員一同、心より歓迎いたします。いま皆さんは、一人一人が自らの「成長物語」の記念すべき新たな1ページ目を記し、新しい環境での学校生活に、ワクワクしていることでしょう。そのようなワクワクする気持ちは自らを動かす原動力になります。これからも大切にしてほしいです。

さて、今日から皆さんは国際バカロレア認定校である本校で、世界の未来の作り手となるべく、正解のない課題に立ち向かう、探究的な学びに取り組みます。そして、本校で「真の学力」を身に付けてもらいます。それは、一般的に言われるテストの点数で評価される「学力」ではなく、よりよい未来を創るために必要な学力です。

それでは、「真の学力」とは何でしょうか？例えば、本校が校訓として掲げる3つのジー、グリット（やり抜く力）、グロース（成長し続ける力）、グローバル（世界に視野を広げる力）が挙げられます。それは、日本一の教育都市を目指すさいたま市が教育方針として掲げた3つのジーと同一にしており、いわば、本校はさいたま市の先進校的な役割を担う責務を担っています。本校のすべての教育活動が、この3つのジーにつなげて教育活動を設計しており、皆さんは様々なところで意識しながら学校生活を送り、成長し続けていくことでしょう。

しかしながら、受け身の姿勢、やらされる課題という意識で取り組むとき、果たして「真の学力」が身に付くもののでしょうか？当たり前ですが、皆さんが積極的な気持ちで、責任をもって参加することが大変重要です。そこで、私からは本校で生活するうえで大切にしてほしい3つのジーに関連した心得をお伝えします。

1つ目は、「考え抜く忍耐」です。小さなことでもかまいませんので最後までやりきる経験を積んでください。そして、問いに対して答えを出したら終わりではなく、さらに「なぜだろう？」と新たな問いを見つけてください。

2つ目は、「成長の実感」です。「人はどのような時に、成長を実感するのでしょうか？」それは、自分一人でできた時、何かを乗り越えた時、何かをやり切った時など、皆さんも少なからず経験してきたと思います。自分の活動を振り返り、自信を少しずつ積み重ね、成長を実感してください。

3つ目は、「コミュニケーション」です。隣に座る7期生の仲間たち、校外・海外の仲間たち、そして先生や先輩など、本校に関わるすべての方たちとともに楽しんだり、悩んだり、高めあいながら、よりよい未来を創造する経験を積んでいきましょう。

保護者の皆様、お子様が自ら志願し、自らの努力で得た学校生活が充実したものとなりますよう、私たち教職員一同、情熱と厳しさを持って、お子様の成長に全力を尽くしてまいります。また、皆様には、お子様がつまづかないようにと先回りして手を伸ばすのではなく、つまづいたところから立ち上がっていかうとする時に、温かい応援やアドバイスをお願いできればと存じます。皆様の御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、未来を創っていく子どもたちのために、ともに考えてまいりましょう。

結びに、「グリット、グロース、グローバル」の校訓のもと、皆さんがたくましくしなやかに成長し続けていくことを祈念して、入学式の式辞といたします。